

豊田市視察報告書

2019年2月3-4日に豊田市足助に美しい村づくり委員会として視察に行きました。3日は「くるま座ミーティング」に参加し、4日は「おいでん・さんそんセンター」と旭地区の5ヶ所を廻りました。

以下印象に残ったこと(僕個人の受け止めたものです)。

地区の方の仲が良いこと、互いに認め合い、繋がり、地域の課題に向きあっている。それぞれの個性に適った「やりたいこと」を連携しながら進めている。

センター開設の10年前に地域の課題に危機感を抱き、動き出し、仕掛けた人がいる。

人が人を呼び込み、その個性を伸ばすお世話をし、10年後の今、人の層の厚さがある。

多くの地域で困ったマイナスの問題としている課題を地域の特徴ととらえ、解決していきける土壌が出来ている。

豊田市行政にお金があること(これは豊田市の特殊事情)。

豊田市が外部の方と共に課題を検討し、センターを設置したこと。そのセンターを地域の方と外部の方を繋ぐ拠点として、間を結ぶ役割と位置付けたこと。

そこに所長の鈴木さんの力があり、更に鈴木さんを巻き込んだ山本さん、火付け役の澁澤さんがおられたこと。豊森なりわい塾の役割も大きいと思う。

様々な企画もその方向性が最も大事です。そこに時間をかけてきた方々がおられます。

今後の課題

まずは村人と繋がり、村の課題等を共有すること。地域の現状や互いのやりたいこと、考えを知り、自分に何が出来るか調べましょう。そして自然の真理や法則、ひととしての役割を学び、関係案内所(仮称)の基礎作りを始めましょう。

村人がそれぞれのやりたいことをやり、楽しく暮らしている姿こそが最も大事であるし、この村の一番の魅力になると思います。愉快で楽しい人が暮らす村には移住希望者が列を作ります。

自分がやりたいことをやり、楽しく暮らすことではないでしょうか。

まず繋がりましょう、繋げていきましょう。